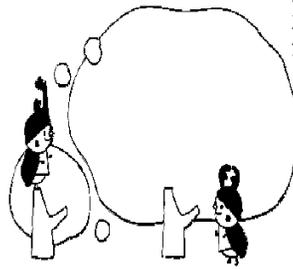


行事予定表		
3	月	交通安全教室(3歳児以上)
4	火	ピヨピヨひろば
6	木	子育てサロン
7	金	七夕集会/写真撮影
10	月	笹焼き
14・15	金・土	お泊まり保育(5歳児)
18	火	巡回相談
19	水	おべんとうデー
20	木	子育てサロン
24	月	リトミック
27	木	誕生会
28	金	避難訓練



紫陽花が美しく咲き、色とりどりの小学生の傘の列、どんよりと曇った空の下、カタツムリ探しに夢中。晴れ間には水遊び、ドロンコ遊びに歓声。

園生活のリズムも身につけて、仲良し友達と好きな遊びを、自我の衝突も増える。子ども達は意欲的で活発になった。

もうすぐ梅雨明け、夏が白い雲の向こうから顔を覗かせると、カタツムリに代わってクワガタ、カブトが登場する。

保護者会主催の夏祭り(8/19)

来月はいよいよ夏祭りですね。役員の方々は着々と準備を始めて下さっています。今年も当日のイベント参加は2歳児以上(にじ・ひかりは自由参加)となりますが、楽しい夏の思い出となりますように！

*夏祭り当日の土曜保育は15時までです。



今月の予定の中から・・・
●交通安全教室(3日)

今月からは、だいちぐみの子ども達も参加します。今回は、信号の見方・渡り方をパネルシアター等で楽しく学びます。

●七夕集会・クラス写真撮影(7日)

園内を、笹飾りや短冊が色鮮やかに揺らめき七夕の世界を表現しています。七日の夜は、七夕への思いを馳せながらお子さんと夜空を見上げてください！

●お泊まり保育(14・15日)

5歳児が保育園でお泊まり保育をする日が近づいてきました。今年も、グループ毎に市内のお店へ食材や花火などを買っていきます。また、夕食は子ども達が話し合い、飯盒炊飯とぞうグループ特製カレーに決まりました。今後、ぞうグループの旗や、キャンドル作りなどの活動を通し、当日まで気持ちを高めていきます。

●誕生会(27日)

今月も先生達からの楽しい出し物を乞うご期待！子ども達の反応が楽しみです。

☆お願い★お知らせ

☆お子さんの衣服はシンプルなお願ひします。(フリルやスカート、スカートズボン、紐のついた衣服は遊具に引っかかり、転倒・怪我に繋がりますので保育園には不向きです。)

☆夏場も運動靴をお願いします。

(子ども達の履物は、クロックス、サンダ

ル等足のつま先、かかとの出るものは怪我に繋がるためご遠慮下さい。)

★先月末より非常勤保育士とし倉田友子さんが勤務しています。どうぞ宜しくお願いします。

「想像力を育てよう」



「いじめ」による自殺が後を絶たない。バク菌、臭いと、のけ者にされたり、靴の中に画鋲を入れられ、学校に来るなど手紙を入れられたりする。狭く閉鎖的なクラスの中では、死を選ぶより逃げ場がないのだ。いじめる側は、そんな他者の苦しみを想像できないのである。▼非認知能力が社会的成功と深く関連していると言われていて、人と関わる力だと思える。人と共感する力、相手の立場に立って考える力、人と協調し、人と人の調整をし、リーダーシップを発揮することができると。それらは想像力が基になると思う。人の思いを想像できると、人の立場に立ってその人の辛さや喜びを共感できること。▼世界中が想像力を失いつつある様に思う。多民族の排除、ヘイトスピーチは相手をどんなに辛い思いをさせているか、想像できない者のやることである。他者への想像力の欠如である。地球温暖化防止のためのパリ協定を破棄することは、環境悪化により、子ども達の未来が破壊されることを想像できないことである。未来に対する想像力の欠如である。こうした想像力を欠如した人が、ツイートを連発し、フェイク・ニュースを繰り返して流すことにより、人々を誤らせる。現代は、スマホ、パソコンなどで情報が洪水のように流れ込んでくる。広く多角的に情報を想像することが必要である。誤った情報を使うのみにすることは、情報に対する想像力

の欠如である。▼京大の総長が、人間がサルから進化して獲得してきたもので、最も大切なものとして共感力を挙げています。共感とは、他者と一体化すること、心と体を同調化すること、他者の気持ちになることであるという。人間は食物を取ってくると、家族・集団で分け合い顔を突き合わせて一緒に食べる。相手の目の動き、顔の表情、行動、雰囲気や相手のことを察してコミュニケーションをとってきた。現代は孤食が増え、ラインや通信で連絡を取り合っている。共感力は育たないという。ここに想像力を育てるヒントがある。あまりに効率を優先し、時間を削り、競い合い、急ぎすぎているのではないか。便利になり、みんなと一緒になくとも、できあいの弁当を買えば済んでしまおうし、家族で協力しなくとも、子どもも育てられる。もつと子ども達とゆつくりと時間をかけて語り合い、一緒に楽しく食事をしたり、絵本を読んだり、体を触れ合ったり遊ぶことが必要だ。▼子ども達と散歩に出かけた折、公園の芝生の上に寝転んで、青空を見上げていた子がいた。私も横に寝て空を見上げると、雲がゆつたりと流れていった。「あの雲、白クマみたい、ゆつくり動いているよ。」そして「どこまで行くんだらう、北極かな、北極は氷と雪だよね・・・。」しばらくすると、旅客機が遙か上空を、西の方へ飛んでいた。「どこから来たんだらう、どこの国の飛行機かな？自分の国へ帰るのかな？僕も大きくなったら、いろんな国へ行ってみよう。」と次から次へと想像を膨らませていた。時間がゆつたりと流れ、同じ思いと共感が膨らんでいた。子ども達にあれもやれ、これもやれと、責め立てるのではなく、共感して、同じ気持ちになる楽しさを味わおう。

